美麻の文化

昔の遊びを掘り起こせ！！

50年前の子供たち

何に夢中になっていた？

「昔の遊びを知ろう！やってみよう！！」をテーマに昔の遊びを調べた。調べようと思ったきっかけは、50代以上の人たちは子どものころどのような遊びをしていたのか知りたかったから、その遊びを自分たちも実際にやってみたかったからだ。

昔の遊びを調査するために、地元の福祉施設や支所でのインタビュー調査、地区の運動会でのアンケート調査を行った。調査の結果、男性では21種類、女性では30種類の遊びを知ることができた。その中にはいろいろな遊びがあり、僕たちの知っている遊びもあったが、全く知らない遊びや、今と呼び方が違う遊びもあった。

その中から「棒ベース」と「まるてんか」という興味をもった2つの遊びを選び、遊び方やルールを調べ、実際に遊んでみた。どちらの遊びも、体をとても動かすので難しい遊びだったが、楽しく遊ぶことができた。

昔は遊びの中で体を鍛えていたという話を聞いた。今の子どもは家の中で遊ぶことが多いと思う。家の中でゲームもいいけど、外で遊ぶことをもっと増やした方がいいと思った。

棒ベースで小枝を打つ保科貫太（14）

お年寄りに調査した遊びの一覧！！（抜粋）

≪男子≫
仮面ライダーごっこ　三角ベース
基地作り　コマ回し　棒ベース
パッチワーク　ぱっち　輪投げ
クギカシ　まるてんか
ちゃんばら　わころばし
ドジョウ取り

≪女子≫
お手玉　まりつき　秘密基地作り
おひゃっこ（ままごと）
あやとり　とびっこ　穴掘り
メンコ　くにとり　ゴム跳び
はねつき　だんま　回りぶらんこ
ドッジボール　島取りゲーム

お年寄りにインタビュー

まるてんか

北沢真寛（１４）まるてんかプレイ中＠美麻中体育館

まるてんかは、美麻支所の丸山さんに教えていただいた。まるてんかとは、地面に円を描きその中に平たい石を投げ、石の入っている円をとばしながらケンパーで往復する何人かで順位を競うゲームだ。

〈ルールの説明〉
１，平たい石を用意し、円を地面に１０個書く。
２，１０個の円に番号を決める。
３，１の円に石を投げる。
４，石が円から出てしまったら次の人に交代する。
５，石を入れた１の円をとばしてケンパーで飛ぶ。円から足が出たら、次の人に交代する。
６，１往復してきたら片足で石をとる。
７，石をとって帰ってくることが出来たら成功。次の人に交代。
８，次の人が１の円に石を投げ、石を入れた円をとばしてケンパーで飛ぶ。
９，交代しながら１０の円まで続ける。
１０，石をとるときのポーズは自由。
１１，１番早く１０まで成功した人が勝ち。

まるてんかをやってみて、石を片足で立ったままとるのや穴に向かって投げるのは、とても難しかった。道具をあまり使わずたくさんの人数でできるのでとても楽しいゲームだった。

棒ベース

棒ベースは、インタビューしてきた中で僕たちが一番興味を持ち、やってみることになった昔の遊びである。

棒ベースのルールなどは、美麻支所の宮沢さんと青具在住の伊藤さんにお聞きした。まず棒ベースをやるうえで必要なものは、50センチくらいの長い棒と10センチくらいの短い棒の２本である。昔は、くわを使ったそうだ。使う木は、あまり枝がなくツルツルしていて、軽くて丈夫な木が理想だ。

〈ルール説明〉
１，地面に穴を掘り、その中に短い棒をななめに置く。
２，長い棒ですくうように短い棒を飛ばす。
３，その棒を守備の人がキャッチ！
４，キャッチされたらアウト！
５，キャッチされなかったら、穴に向かって短い棒を投げる。
６，投げる際、長い棒を穴にの上に置いておく。
７，短い棒が穴に入るか長い棒に当たったらアウト。
８，アウトにならなかったら２回目。
９，２回目は穴の上に短い棒を横にして置く。
１０，短い棒をすくうように飛ばす。
１１，その棒を守備の人がキャッチ！
１２，キャッチされたらアウト！
１３，キャッチされなかったら穴に向かって短い棒を投げる。
１４，投げる際、長い棒を穴の上に置いておく。
１５，アウトにならなかったら３回目。
１６，片手で短い棒と長い棒を持つ。
１７，その棒を守備の人がキャッチ！
１８，キャッチされたらアウト！
１９，キャッチされなかったら穴に向かって短い棒を投げる。
２０，その際、バッターは穴の上で長い棒を振るなどして守る。引いてもよい。
２１，投げた短い棒が穴から離れた距離を長い棒で測り、その分が得点になる。
２２，アウトになるまでやり、アウトになったら交代。これを繰り返す。

今回棒ベースをやってみて、最初はやり方がわからなくて全く違うことをやっていたが、教えてもらってやってみたら、すごくおもしろい遊びだった。家の中でのゲームばかりでなく、このような遊びをしてみてもいいと思った。